

令和5年度第1回板橋区健康づくり推進協議会

- 1 開会
- 2 議題

令和5年度第1回板橋区健康づくり推進協議会議録（要約）

許会長	それでは健康づくり推進協議会の議事に入ります。 議題1 「『いたばし健康プラン後期行動計画2022（追補版含む）』の令和4年度進捗報告について」、事務局から説明をお願いいたします。
健康推進課長	資料3を用いて説明を行った。
許会長	それでは、この件について何かご意見・ご質問等ある方はご発言をお願いします。
藤垣委員	達成度評価評語の「達成+」について、定義を教えてください。
健康推進課長	年度当初に掲げた目標事業量に対して、事業の開催回数や参加人数等の実績が上回っているかどうかで判断しています。
安藤委員	事業実施における目標設定方法について教えていただければ、達成度評価評語のイメージを上手く掴むことが出来ると思います。例えば、議題2の「いたPay健幸ポイント」はどのように目標を設定するのでしょうか。
健康推進課長	登録者の人数やポイントの利用実績を用いて目標を設定していきたいと考えております。
許会長	「いたPay健幸ポイント」は、利用できるのは板橋区民だけでしょうか。
健康推進課長	板橋区在勤者でも利用することが出来ます。
柘津委員	質問が2点あります。 1点目は、達成度評価評語についてですが、客観的に評価することによるメリットを具体的に教えていただきたいです。他自治体との比較が可能に

	<p>なるのでしょうか。</p> <p>2点目は、達成度評価評語における「達成」についてですが、目安を60～100%とした根拠を教えてください。</p>
健康推進課長	<p>まず、1点目については、板橋区独自の事業もございますので、共通の指標で他自治体と比較を行うことは難しいかもしれません。ただ、事業について定量的な指標を用いることで、より客観的に計画の評価を行うことができるようになります。</p> <p>2点目については、基本計画の策定を所管する部署のモデルを準用しておりまして、大きな括りとはなっていますが、3つの評価評語で整理をさせていただいております。</p>
鈴木委員	<p>昨年度の「健康づくり活動展」に足を運んだ際に感じたことですが、基本方針4「健康を支える環境をつくる」の達成に向けては、展示のみではなく説明を行う職員を配置することが必要なのではないのでしょうか。</p>
健康推進課長	<p>お越しいただきましてありがとうございました。今後については、従前通りの展示に加えまして、職員の配置や野菜摂取量を測定する機器等を用いた体験できる機会の提供を検討しております。</p>
鈴木委員	<p>やはり健康を支える環境をつくるためには、コミュニケーションが大切だと考えています。よろしくお願いします。</p>
許会長	<p>他にご意見・ご質問等はございますか。</p> <p>ないようですので、議題2「スマートフォンを活用した『いたPay健幸ポイント』について」、事務局から説明願います。</p>
健康推進課長	<p>資料4-1、資料4-2を用いて説明を行った。</p>
許会長	<p>それでは、この件について何かご意見・ご質問等ある方はご発言をお願いします。</p>
横田(し)委員	<p>スマートフォンはどの世代の方でも持っている状況ですが、利用にあたって年齢制限はあるのでしょうか。</p>
健康推進課長	<p>年齢制限は特に設けておりませんので、ぜひ幅広い世代の方に健康づくりに取り組むきっかけとしていただければと思います。</p>

横田(し)委員	目標人数の5,000人はどのように設定しているのでしょうか。
健康推進課長	先行して健康アプリを導入した他自治体を参考に算定いたしました。
土田委員	板橋区シニアクラブ連合会では、「高齢者の暮らしを拓げる10の筋力トレーニング」について、おとしより保健福祉センターと協力しながら活動を行っております。こうした事業も「いたPay健幸ポイント」に組み込んでいただきたいと思っておりますので、ご検討をお願いいたします。
健康推進課長	ご意見いただきありがとうございます。今後の検討課題の一つとして考えさせていただきます。
齋藤委員	健康ポイント事業については、令和3年度にも実施していたかと思いますが、何か違いがあるのでしょうか。 また、運動の習慣化を促すためには、単年度ではなく複数年度で計画することが必要だと考えますが、いかがでしょうか。目標人数についても、健康への関心を拓げるという意味では、もう少し増やしても良いのではないかと思います。
健康推進課長	令和3年度の健康ポイント事業については、都の実証事業として実施をしております。それに対して、本議題の「いたPay健幸ポイント」については、板橋区の事業として実施し、板橋区独自の電子通貨と連携を行う点が違いとして挙げられます。 また、計画年度については3年間を考えております。効果的にPRを行い、可能なかぎり息の長い事業にしていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。
兼板委員	これまでは、企業や健康保険組合が取り入れていますが、板橋区でも実施するとのことで、非常に良い取組だと感じております。今後は、データに基づいて、専門家からアドバイスを受けられるようにする等ケースバイケースでサービスを付加できると、より一層継続性が生まれると思っております。
許会長	非常に関心の高いプロジェクトで、ぜひ成功するように期待しております。他にないようでしたら、議題3「出張ゲートキーパー研修について」、事務局から説明願います。
健康推進課長	資料5-1、資料5-2、資料5-3を用いて説明を行った。

許会長	それでは、この件について何かご意見・ご質問等ある方はご発言をお願いします。
祢津委員	地域自殺対策研修の申込者数についてですが、前回実施時は定員を超えてしまっているのでしょうか。もし定員を超えてしまっているのであれば、研修の様子を録画・録音して、参加できなかった人に共有することは可能なのでしょうか。
健康推進課長	地域自殺対策研修については、昨年度も実施させていただいておりますが、定員に満たないことはなく大勢の方にお申込みいただきました。今回の自殺対策研修は、アーカイブとして配信する形式とはなっておりませんが、今後の検討課題とさせていただきます。また、国でも自殺対策関連の動画が配信されておりますので、周知に努めたいと思います。
許会長	参考に伺いたいのですが、板橋区における自殺者数の推移はどのようになっているのでしょうか。
健康推進課長	板橋区における自殺者数については、国の傾向と同様に3年連続で増加しております。警察統計の数字を紹介させていただきますと、コロナ前は90、令和2年は107、令和3年は110、令和4年は114となっております。自殺対策の取組が直ちに自殺者数の減少に繋がるとはいえない状況ではございますが、様々な主体と連携しながら、自殺対策事業及び自殺対策計画の立案を行っていきたいと考えています。
許会長	コロナ禍において、日本全体で自殺者数が増加していますので、自殺対策事業は重要だと考えております。
加藤委員	若年層の自殺者が増えている状況にあると思いますが、学校と連携を行う予定はあるのでしょうか。
健康推進課長	若年層の自殺者の増加は重要課題として捉えておりますので、小中学校を対象に研修を実施しました。また、区の全職員向けの研修も実施しております。あわせて、自殺対策をテーマとした絵本づくりも開始しております。絵本の作成段階から大学生の方にご協力をいただきまして、命の大切さを学べるようなツールを作成しています。今後も引き続き若年層向けの自殺対策を進めていきたいと考えます。
許会長	非常に重要な課題ですので、今後も引き続き実施する必要があると考えま

	<p>す。</p> <p>他にないようでしたら、議題4「板橋区国民健康保険保健事業プラン2029の策定について」、事務局から説明願います。</p>
国保年金課長	資料6を用いて説明を行った。
許会長	それでは、この件について何かご意見・ご質問等ある方はご発言をお願いします。
兼板委員	板橋区特有の課題があれば教えてください。
国保年金課長	板橋区全体として、生活習慣病の増加が課題として挙げられます。今後は、重症化しないように注意しながら、早期発見・早期治療につなげていくことを目標として今回の計画に盛り込んでいきたいと思います。
許会長	板橋区における健診の受診率はいかがでしょう。
国保年金課長	健診の受診率は、46.8%であり、23区では上から3番目となっております。
許会長	区の施策が功を奏しているようですね。生活習慣病のなかでも、糖尿病の患者が増加傾向にあるかと思いますが、板橋区では生活習慣病のどのような病気が課題となっているのでしょうか。
国保年金課長	板橋区においても、糖尿病を課題として捉えておりまして、非常に恐ろしい要因を持っている疾患だと受け止めております。ただ、これは早期発見することによって、ある程度進行を抑えきれます。病気の入り口である若年層の方は、どうしても自分ごととして捉える意識が薄くなってしまい、治療が後手にまわってしまうリスクを持っています。早く治療に踏み込むことによって、生活習慣の見直しだけで済む場合もございますし、医療費の抑制につながると考えています。糖尿病の早期発見・早期治療につなげていき、皆さんが幸せになれるような計画を策定していきたいと思います。
齋藤委員	若年層の多くの方は、国民健康保険ではなく社会保険に加入されている方が多いと思いますが、早期治療に向けて社会保険加入者に区として介入できないのでしょうか。

国保年金課長	社会保険加入者については、私どもが国民健康保険の所管をしている部署ですので、関与することがなかなかできないところでございます。広く区民の方に対して、健康に関する意識を高めるアプローチに注力していきたいと思えます。
許会長	他にないようですので、議題5「その他」に移ります。全体を通して、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか。
横田(洋)委員	昨今、熱中症に関するニュースを目にする機会が多くございまして、長い期間を通して熱中症対策が必要だと考えているのですが、区としての熱中症対策の方向性や計画をお知らせいただけますでしょうか。
健康推進課長	国で発出している熱中症アラートの活用や区の公式ラインでの周知を行っております。あわせて、一時休憩所を区の複数施設で設置しています。今後の状況を踏まえつつ、熱中症対策に努めていきたいと思えます。
小林(顕)委員	資料3の達成度評価評語について、達成割合が高すぎる印象を受けました。当初の計画策定時に目標が低く設定されているのではないのでしょうか。
健康推進課長	次期計画策定時には、目標設定が適正かどうか精査をしたいと思えます。
横田(し)委員	警察統計について、自殺者の数字は個別の分類がされているのでしょうか。
健康推進課長	警察統計は、家庭問題や健康問題、勤務問題等のいくつかのカテゴリーで分類されております。
許会長	他にないようですので、本日の板橋区健康づくり推進協議会を終了いたします。それでは、事務局より閉会の挨拶をお願いいたします。
健康推進課長	本日は、お忙しいところ熱心にご審議いただき、また、貴重なご意見・ご要望をいただきありがとうございました。可能な限り区の事業に反映させていきたいと思えます。なお、次回の協議会については、令和6年2月頃の開催を予定しております。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。